

作業を中心に、毎月の行事や社会資源を積極的に利用しながら経験を積み、「好きなこと・嫌いなこと」「できること・できないこと」を自分自身が知る機会になるよう支援を行いました。4月には、恒例となりました関西電力の方たちとのボウリング大会、年4回実施した(株)NTTコミュニケーションズでのクッキー・マドレーヌの販売活動、難波特別支援学校のグラウンドをお借りしての運動会、そして、9月の大阪市立北区民ホールで行われた手をつなぐ育成会の近畿大会では「東成育成園パフォーマンスクラブ」として、ダンスを披露させていただきました。販売もステージ出演も、回数を重ねる度に、次は「もっと、より良く」という気持ちが湧いてきて、利用者にとっても職員にとっても貴重な経験になっています。相談支援事業では、障害のある児童とその保護者を対象として「さんぽっく」というグループ活動を始めました。障害のある子どもの経験の場と保護者の方のコミュニティの場を目的としています。今年度は、子どもを対象として冬休み・春休みに野外で遊ぶイベントを開催しました。保護者の方たちとは月に1回程度集まりを持ちイベントの内容を考えたり、小学校入学に際して先輩の親御さんの話を聞く機会を持つなどの活動をおこないました。また、日中一時支援事業では、主に夏休みの期間に特別支援学校の生徒の利用がありました。

< 港育成園 事業概要報告 >

新しい事業体系への移行を考慮しながら、旧法「通所更生施設」で運営を行いました。

利用者一人ひとりに関わる支援については、個別支援計画の具体化に取り組み、利用者一人ひとりの特性に応じた支援計画の作成を目指しました。ストレングスの視点を大切にしながらアセスメントを立てていくには、支援者一人ひとりのアセスメント力が問われ、計画を有効に機能させていくには支援者の習熟がまだまだ必要であると感じました。

具体的な支援の内容は、作業活動を主にしつつ小人数でのグループ活動・一泊旅行・作業参観・忘年会・慰労会・また休日の活動としてプールと雪遊びを実施しました。

休日活動は保護者も一緒に参加していただけるように企画をしましたが、思っていたより保護者同伴での参加が少なく、少数の保護者と単独の利用者・支援員との活動になりましたが、参加していただいた保護者の方からは家族だけでは、プールや雪遊びなどに出かける機会がなかなか作れないので、よいきっかけになりました。また、園が企画をすることで他の利用者とはふれあうこと

ができてよかった。とお話を頂きました。

休日の取り組みとしては、月2回のサークルを港第二育成園と合同で実施しました。第2土曜と第4日曜と設定し、できるだけ多くの人に参加してもらえるような配慮をしました。また、太鼓サークルが港区区民まつりで声を掛けていただき、大勢のお客様の前で発表させてもらえることができました。地域との交流も昨年同様に行い、地域の中学校の職場体験などの取り組みにも協力しました。

その他のサービスとしては、日中一時については、特別支援学校高等部の方に、長期の休暇の時に利用をしていただきました。また、在宅で過ごしながらも、毎日通うことが難しい方の利用も積極的に受け入れました。

昨年に引き続き、学齢期部会会員の方向けに「親子バーベキュー」を実施しました。参加者には限りがあったものの、おおむね好評に実施することができました。

年度当初に「ぼると」の引越しを行い、以前と違い一階に事務所があることで利用しやすい雰囲気になっています。「ぼると」では居宅(移動介護)事業・相談支援事業を行っています。

居宅(移動介護)事業、居宅事業は、地域の人を中心にガイドヘルパーの派遣を行いました。

委託事業として、相談支援事業を受けています。地域の方の相談や指導・必要なサービス提供を実施し、今まで福祉的なサービスを受けずにいた方や家族だけで抱えていた方などの相談を受けました。

< 港第二育成園 事業概要報告 >

新体系への移行を目前に、支援の有り様を顧み、その結果として開所当初からの基本理念である「物を作る《人》を育てる」ということの重要性を再確認し、それを基に新体系移行に向けての取り組みを考えた一年であった。

当園の取り組みの中核をなす『作業学習』については、近隣企業の協力の下、内職作業を主に下請けし、働く為の基本(集中力や生産性、報告や体力等)を学べるよう、作業量・作業種ともに用意した。時に、景気が下方情勢であるため、作業確保に苦慮した時期もあったが、これまで培ってきた企業との関係の下、各社とも十二分に協力していただき、なんとか一年を通じて手を余らせることなく提供できた。また、過日発生した震災の復興に係る建築資材等については、直後より受注が集中し利用者・職員とも出来る限り対応している状況である。

次のステップとなる『企業体験実習』には、半日実習・一日実習の場を複数設け、4~6名のグループにわかれ、